

調光・調色 LED ライトボックス

LZ-1



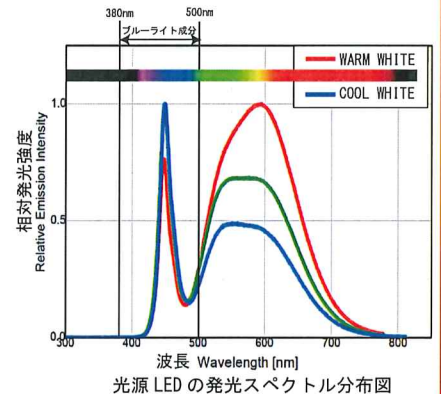
LZ-1 は調光・色温度選択 / 調色機能を持った目視検査のための補助照明装置です。

厚みのある観察物の細径貫通穴内部の検査のような高い照度が必要な場合から、フィルム状ワークのピンホールの有無検査のような、照度がそれほど必要ない検査まで、LZ-1 で幅広く対応できます。

検査の際に観察物のサイズによっては、光源が直接視界に入りがちな透過照明は、光源からの光が観察物へ当たり、その反射光を拡大して観察する一般的な照明拡大鏡に比べて、光の質（明るさや色温度等）が目視検査時の目の疲労度に大きく関与します。

発光部がやむを得ず直接視界に入ってしまう場合、目の疲労を軽減するためには、発光部の照度は周囲の環境照度に近づけることが対策として有効であることから、LZ-1 では調光機能を標準装備としました。

また、光に含まれるブルーライト成分を低減させることも目の疲労を軽減するための対策として有効であることから、LZ-1 では、発光部の色温度を Warm White と Cool White の2つから選択できる機能を標準装備としました。

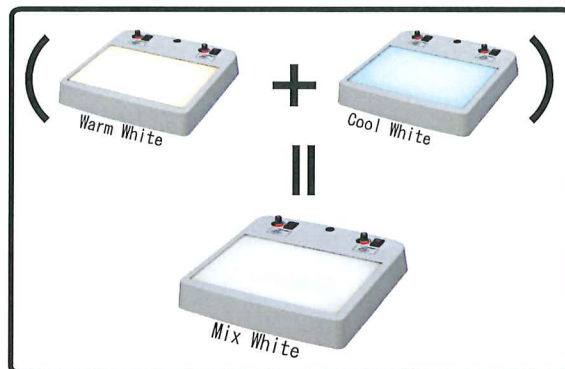


一般的にブルーライトとは、光に含まれる波長成分のうち、380-500nmの成分を指します。発光スペクトル分布図からわかるとおり WARM WHITE 領域の光は COOL WHITE 領域の光に比べて、ブルーライト領域の光の強さのピークが約 25%低いことから、光の色温度が検査結果に影響しない場合 WARM WHITE 光を選ぶことで光に含まれるブルーライト成分を約 25%低減することが可能です。（市販のブルーライトカット眼鏡の性能は、20～30%カットするものが一般的です）

また、検査結果に色温度が大きく影響する場合は、WARM WHITE 光と COOL WHITE 光を同時点灯させ、独立調整が可能なそれぞれの光の照度を調節して異なる色温度の光を混ぜる事で、色温度の調整及び明るさの調節が可能のため、観察物の色や素材感に合った色温度と照度に調整することができます。



拡大鏡同時使用例
お手持ちの照明拡大鏡と組み合わせて使うことで、検査の幅が大きく広がります。
（※アームタイプの照明拡大鏡は付属しません）



LZ-1 製品主要諸元：

税抜メーカー希望小売価格：¥80,000
最大消費電力：20W（両側照度 Max 点灯時）
最小消費電力：4W（片側照度 Min 点灯時）

最大照度：27klux（両側照度 Max 点灯時）
最小照度：5.7klux（片側照度 Min 点灯時）
照度測定条件：拡散板中心 0mm の位置にて測定。
照度は抜き取り品を測定したデータであり保証値ではございません。

概略寸法：AC コード長 約 1.8m
発光部寸法 210X298mm

